大正十三年十月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊
十二月廿二日（金）

昭和八年の回顧（廿）

うらみは深し

日高、李兩刑事賊彈に斃る

新京署を通じて見た一年（B）

次に司法係を見るとこれまで市民を戰慄せしめる血腥い殺人、強盗、傷害、致死事件その他智能犯罪である詐欺、横領、誘拐の數々が織込まれ複雜を極めてゐる、十一月末日までの司法事件の取扱件數は二千六百二十九件内發生一千五百八十二件、檢擧千四十九件で、昨年一ケ年に比すると發生三百二十三件、檢擧百二十三の増加である、これは國都新京の急速的發展による一反映である、内發生件數は窃盗一千二百六十六件を筆頭に、詐欺百五件強盗六十四件横領六十二件、傷害致死二十八件、阿片煙の罪二十八件、賭博六件、過失傷害六件、恐喝三件、失火二件、贓物を賣二件、殺人一件、姦通一件、通貨僞造一件、逃走一件、その他十二件である、これに對し同署が六十四回に亘つて全員の非常召集を行ひ血眼となり犯人逮捕に努め檢擧したものが窃盗六百六十九件、強盗百六十三件（内管外百十七件）、詐欺七十七件、横領五十一件傷害二十八件、賭博六件、過失傷害六件、阿片煙の罪二十八件、恐喝三件、失火二件、贓物故賣二件、殺人一件、誘拐一件、姦通一件、通貨僞造一件、その他十二件である

▼……▲

右の間特に市民を恐怖のどん底に陥入れた重大事件をあさつて見ると次の如く殺伐な繪巻物がくり擴げられ市民の記憶を新にするものたちである

二月十一日 紀元節の佳辰の當日市内永樂町一丁目小谷フキ（四六）さんが主人不在中出刃庖丁で顔面頸部を滅多斬りにされ最後に腹部に止めの刃を突刺し殺害し室内を鮮血に染めてゐる慘虐な事件が發生した兇行が慘酷なるため痴情關係による殺害か單なる強盗事件かに就き騒がれたた倉田司法主任の檢證の結果犯行は滿人の手口で單なる強盗犯人と睨み捜査の結果一晝夜を經過しない内に犯人厲文和（二六）を入舟町四丁目四十七番地で逮捕し取調た處犯人は同家のボーイに雇はれたことがあり就職を依頼し歸途俄然突然金錢が欲しくなり日頃から同家に金が澤山あることを知り兇行を演じたものであつた

三月六日 午前五時ごろ新京署では市内荒しの馬賊頭目劉振國が西公園西方黄瓜溝の農家に潜伏してゐるを探知し同係では全員を二隊に別け倉田司法主任、李林警部補が指揮官となり拂曉を期し二隊が二ケ所を襲つたが幸か不幸か李林の一隊が襲つた家屋に賊が潜伏しており刑事隊が包圍しながら近よつたせつな日高刑事、李巡補が表戸を破壞し飛込むや賊は内部から拳銃で二名を射殺し警戒線を突破し逃走した殉死を遂げた兩氏は署葬で告別式が行はれたが署員は今も忘れることの出來ない思出の涙である、日高、李兩氏を失つた同僚はいつも恨みの劉振國を念頭から離すことがない新京署としては永久に忘れられない事件であつた

四月十一日 午前零時から同一時の間に新京署構内獨身宿舎九號に怪盗が侵入し僅か一時間の間に岡崎巡査の拳銃が窃取されてゐるを發見した同署では事件を重大視し幹部が協議を重ね犯人が同僚であるか又は外部から侵入したものかに就き嚴重調査を進めたか遂に逮捕するにいたらなかつたが犯人は實に大膽不敵な怪盗であつた

四月十三日 新京總領事館刑務所に收監中の未決囚窃盗前科四犯松岡政和（二三）が構内作業中突如姿を晦した同署では直に新京署に手配し協力犯人逮捕に努めた結果十四日午前六時ごろ僞名し三笠町一丁目吉田屋旅館に投宿し將に逃走せんとしてゐるを後藤谷口兩刑事に逮捕されたが續いて犯人は再び八月二日監房の手薄を見便所掃除中便所窓を破壞し赤の獄衣のまゝ脱走十三日間を經過惡運盡きハルピンで逮捕された

四月十一日 自殺？他殺謎の死を遂げた元文部省屬託小管豊治（四一）は四月十一日三笠町一丁目吉田屋旅館に投宿したが午後八時ごろ突然行方不明となつた新京署では屆出と同時に刑事隊の活動となり行方捜査に努めたが遺留品に血痕が附着してゐるら關係から推して自殺か他殺か血痕を確めるとともに一方行方を捜査したが發見するにいたらず謎はますます謎を重ね市民は奇怪な事件として重視してゐたところ十九日間を經過した廿七日午前十時ごろ池水刑事が隣のヤマトホテル裏宿舎マンホール内で縊死してゐるを發見した、當時既に死体は腐爛してゐたが花輪司法領事、今江檢事事務取扱、原田書記生、高山署長、倉田司法主任塚本醫師が立會檢證を行つたが判定することが出來ず翌日滿鐵病院で解剖に附したがその後新京署司法係の大活動の結果自殺の資料が續々發見され遂に謎を解くことが出來た

六月廿八日 午後六時ごろ吉林第二監獄の囚人八十五名が看守の手薄に乗じ一齊に監房を破壞し雪崩を打つて脱走し看守の長銃を強奪看守を射殺逃走したこの内重大犯人はいづれも新京署から送致したものであつた近代珍らしい脱獄事件であつた

十二月十三日 總領事館刑務所に收容中の元關東廳巡捕強盗犯人金成鼎、傷害致死武藤平人、詐欺、横領、窃盗前科二犯三原政雄、強盗山崎幸吉の四名は監房の窓ボートを折りまゝ脱走、うち武藤平人のみは十四日午前寒さと飢えにたえかね自首殘る三名は今なほ行方不明である

大同二年度追加豫算

一千五百萬圓

本月中に査定完了

滿洲國政府大同二年度追加豫算は目下總務廳主計處で編成中であるが、本月中には査定完了の上、國務會議に上程の豫定であるが、總額一千五百萬圓に上る見込みである

十二月上旬

社線貨物荷動き

十二月中に於ける京鐵管内社線及連絡の荷動狀況を觀るに北滿鐵路は高率運賃並に拉賓線開通運行を見越して益々軟勢に傾き本月上旬より約五千瓩減少を見た一方四洮、京圖連絡は依然堅調を持續し京圖線の如きは從來頻繁に行はれて居た〇〇輸送も減少したので本格的な荷動きを見るに至り、上旬に比較して五千六百瓩増加して居る、管内社線特産輸送は十一月より本月上旬にかけて猛烈に出拂つたため中旬は幾分低下氣味である十二月中同貨物發送高は

管内社線	七四、八二八瓩
四洮連絡	三、六八四瓩
北滿連絡	二三、八八一瓩
京圖連絡	四一、六六一瓩
合計	一六一、〇五四瓩

品種別

大豆	一〇七、三三八瓩
高粱	九、九四九
玉蜀黍	三、三三〇
粟穀	四、一二五
雜穀	一九、〇四四
木材	一、六九七
豆油	九七
豆粕	七、三〇一
其の他	八、一七二
合計	一六一、〇五四

依蘭電業公司

發電工塲竣成

〔依蘭國通〕依蘭縣城有志相計り今夏以來北海電業公司に交渉し資本金六萬元の依蘭電業公司を設立、電燈設備中のところ此の程動力七〇、八五馬力數二五燭光三千燈の發電工塲を竣工成り點燈受付けを開始し愈よ文化の光りに浴することになつた

輸出絹糸販賣

統制調査の

第三回總會

〔東京國通〕農林省では二十七日大臣官邸に輸出絹糸販賣統制調査會第三回總會を開催することに決定諸種の手續をとつたが當日は前回に引續き主務省より輸出絹糸取引狀態を聽取する由

昭和レイヨン

一割四分配

〔大阪國通〕昭和レイヨンでは會議所で總會を開催、二分増配の一割四分を附議決定す

丁公使近く退院

〔東京國通〕軍醫學校に入院中の滿洲國駐日公使丁士源氏は近日中に退院し暫時靜養の豫定

統制法實施以來

米穀賣渡し二百萬俵を突破

〔東京國通〕米穀統制法公定價格決定後如何程の賣渡し申込みがあるか農林省では注視して居たが、十九日午後より二十日正午までの全國受渡俵數は俄然八十萬六千六百十五俵、三十萬六百四十六石といふ數字を示し實施以來累計實に二百萬俵を突破し、統制法施行以來已に二千萬圓の米穀買入資金を消費した

日滿悲曲

生命線を行く

（舞臺上演・映畫）國友雄吉　（荒川芳三郎 畫）

（四十九）

魂は要子の上

滿洲里の叛將、總司令の蘇炳文といふ男は、元來一つの大きな不平を持つてゐた。そしてその不平が、張學良一派の煽動によつて勃發した。それが、今度の滿洲里事件の原因であつた。

當時滿洲の新國家では、韓雲階を、興安省長に任命した。それが、蘇炳文の癪の種であつた。

「俺はもとく、韓雲階よりズツト階級が上で、人物だつて彼奴等に劣つてゐやうとは思はない。それに新國家は、やたらに韓の奴を優遇して、省の首席に据ゑ、俺を一向に優遇しやうとはしない。實に怪しからん――」

そんな不平を持つてゐた。

ところで、蘇炳文の率ゐてゐる護路軍といふのは、鐵道の警備をする軍隊のことで、そのほかに、支那の特別警備隊といふのもあつたが、滿洲國が出來上ると同時に、新政府から、續々警察隊が派遣されて來るので、昨日の蘇炳文を始め護路軍の將卒連中には、とかくそれが、目の上の瘤であつた。

その虚に乗じて、支那側張學良の一派が手を廻して、いろいろ煽動する。

「どうだ、一ト旗揚げて滿洲國を打ち潰してしまう氣はないか、武器や彈藥は、いくらでも供給するぜ」

その煽てが利いて、蘇炳文、たうとう、謀叛の肚を決めてしまつた。

が、その蘇炳文叛逆の槍玉に擧がつた三百名の在留日本人こそ、まことに飛んだ災難で、悲しい犠牲者と言はねばならなかつた。

しかし、その滿洲里の遭難が日本に傳はつた最初は、極めて漠としたもので、詳細は容易に知ることができなかつた。

支那兵は、叛亂を起すと同時に、チチハルへの電話線を切斷した。それでチチハル駐屯の皇軍に、急を知らせることができなかつた。

それがため、在留邦人は、さながら釜中の魚同様となつた。通信機關が無くなつては詳細を知ることのできなかつたのも、その筈である。

伸一は、その最初の號外を見ると同時に、すぐに、東京出發の支度に取かゝつた。

千瀬子夫人も、妹の梢も、さすがに心配になるとみえ、いろいろ親切に慰め、心付けてくれるのであつた。

しかし、伸一はもう、それどころで無かつた。魂は既に、滿洲里の空へ飛んでしまつてゐた。そして、要子がまさか、行方不明になつて居やうなぞとは、夢にも想つてゐなかつた。

滿洲里を出發する朝、家の前に立つて、見送つてゐた要子の姿――手を振つて、左樣ならを言つた茂彦の可憐な姿――が、マザマザと目の前に浮んで來る。

そして、怖ろしい空想が、後から後から彼を脅かした。

砲煙の渦巻く滿洲里の市街――そこに湧き起る阿鼻叫喚――相手の弱味に付け込んで惡鬼の如く暴ばれ廻る支那兵――その支那兵の毒手に苦しめられる悲慘な要子の姿――。

旅行の支度を急ぎながら、又しても、ぼんやりと、考へ込んでしまふ伸一であつた。そして胸は、絶えず不安に戰くのであつた。

「兄さん――」

うしろから、聲をかけたのは久彌であつた。

伸一は、聲をかけられるまで、弟の入つて來たことさへ知らなかつた。

「あゝ」

伸一は、氣の脱けたやうな返辭をする。

「支度が出來たら、すぐ出かけませう。僕、驛まで送つて行きます」

「ありがたう」

それから、支度が出來上ると、伸一は、改めて、母の前に行つて暇を告げた。

「では、行つて參ります」

「氣をつけてね。あたしたちは、市子さんや茂彦の無事を、神さまにお願りしてゐますから――」と千瀬子夫人は言つた。

次回の本會議で殘余の事項決定か

日印會商大團圓愈よ近づく

會議開始以來三月

〔デリー廿一日發國通〕 前後三ヶ月もかゝんだ日印會商も澤田、ボーア兩首席代表の私的交渉並に專門委員會の討議に依り愈よ最終的段階に入り

一、爲替變動補償條項
一、第一年度の綿布輸入割當量

等に就き具体的協議が遂げられ主要懸案に就ては殆んど全部日印代表部の意向が明瞭となるに至つた、殘る懸案は

一、棉花凶作の場合に於ける對策
一、日本政府の輸出統制實施方法
一、再輸出綿布數量の有效期限

等の細目だけとなつたが次回の日印會商正式會議では日本代表部から爲替補償條項等につき回答する順序となつてゐるので次回正式會議迄に殘りの諸懸案に就て最終的諒解を遂げ、次回には之等の懸案一切につき日本代表部の意見を表明することゝなつた、同時にボーア長官が口約を與へた品種別比率の融通限度につき多少の讓歩を要求するものと觀られてゐる、斯くて次回の正式會議で懸案全部が決定を見れば新協定の運用に必要な細目事項を討議し日印會商は愈よ大團圓を告げる段取りである

外國品の全般に從量稅を附加せん

最後的決定に進む日印會商

〔デリー二十日發國通〕 日印綿業會商は最後の最大難關であつた爲替條項についても略々妥協の境に達し、その他各種問題についても最後の決定的打合せが行はれつゝあり、新條約草案に關する細目討議に進む段取りであるが、已にクリスマス休暇も近づいてゐるので最終的協定の締結をみるのはクリスマス以後となる模樣である、一方印度政廳では二十一日又は二十二日印度立法議會に對し、織物以外の各種國內工業製品保護の目的を以て一率に各外國品全般に適用すべき從量稅の附加を規定した關稅改正法案を提出するものとみられてゐる

日蘭綿業協議會

紡聯、輸綿が對策協議

〔大阪國通〕 日蘭綿業協議會對策研究のため紡聯、輸出綿糸布の兩團體は綿業會館に委員會を開催、左の如く意見一致した

一、協議會開催異議なし
二、オランダ代表を日本に招くと言ふ說有力なるもオランダ政府がジャバを指定するに對しては別に反對はせず
一、銘柄の輸入は利害數量協定は基礎資料を愼重に協議の必要あり
一、蘭領印度の全輸入綿製品に對する協定は原則として相對關係にて討議すべきであるが日蘭互惠協定とは別個である
一、前二項の討議事項の具体的內容はオランダ政府と當業者の意向を確かめた後再協議すべし

尚庄司、阿部兩氏は二十三日上京、外務省と打合せを遂げる筈である

日本綿業に對抗するには

先づ組織改善から

悲鳴と皮肉亂れ飛ぶ英國下院

〔ロンドン廿日發國通〕 二十日の英國下院に於て勞働黨より又も日本其他の綿業競爭問題に關する重要な動議が提出され、元來競爭的資本主義は速かに清算すべきであるから吾人は綿業を公營の基礎の下に改造し、これに綿業の統制ある政策を確保すべき法律上の權限を與へられた政府の代表機關を附屬せしむべきことを提議するの提案が行はれ右動議を中心に綿業問題の現狀に關する討議が行はれた席上保守黨議員エント、ウイフスル氏は「英國各殖民地市場は競爭により甚しく蠶食され、一方英國の對支貿易も非常に削減された」と述べたこれに對し商務次官ベーキン氏は答辯して曰く「日本品との競爭問題を常に下院に持出すのは決してランカシャに對し貢獻する所以ではなく、英國政府と日本との關係を援助する所以でもない、綿業を一瞬にして改造する樣な魔法の杖等は決して無いのであつてランカシャは出來得る限り近代的な設備をなすことに依つて自ら救濟することが出來るのである」次で勞働黨の上程動議に對する修正案が提出され、票決の結果百三十五票對十三票で可決された、該修正案の內容左の如きものである

下院は綿業の組織を改善せんとする當業者の希望を諒承し、且當業者がこの目的を達成するため具体的對案を作成すべきことを歡迎する

右修正案の可決後綿業討議は無期延期となつた

各部に亘る調査大綱決定

政友會政務調査會

〔東京國通〕 政友會幹部と政務調査會役員の聯合協議會は二十一日午前十時半より芝三緣亭で開催され島田總務を座長に推し山口幹事長より時局重大の際且議會開會を前にして眞面目な且廣汎に亘る調査の出來上つたことを感謝し、前田政務委員會長より調査の大綱を述べたる後い外交、內政、財政、經濟、國防、產業日滿經濟、思想教育等各部に亘る委員會の報告あり、原案通り可決し次で政務調査會を開催した、各部委員會報告中外交、國防、日滿經濟等に關するものは左の通りである

△第一外交
一、聖旨を奉戴して積極的自主の精神により對露、對支、對英、對米夫々の策を樹ること
二、特に經濟的機能を發揮せしめる趣旨を以て外交機關と人事を刷新すること

△第二國防、財政の確立と戰用資材の自給と思想の教化と相俟つて國防の永遠性を確立すること

△第三日滿經濟
一、適地適業主義を確立すること
二、特惠關稅性を制定すること

近衛師團に轉任の高波將軍語る

〔ハイラル國通〕 今回の陸軍異動に依り近衛師團司令部附と決定したハイラル〇〇團長高波少將は往訪の記者に對し左の如く語つた

君國に對する御奉公の精神は場所により變化あるべきものではない、隨つて私の心境には別に變化も感想もある筈がないが滿洲國治安恢復に幾分お手傳し得た私として昨年八月來滿當時の混亂狀態と昨今の平和さを對比して血みどろとなつて戰死した幾多戰友の貴き犧牲の空しからざる事がしのばれこれ程自慰されることはない

三、金本位制度への漸進手段を講ずること
四、適切有效なる農耕移民を行ふこと

廿三日の內政會議で

農相追加豫算問題を力說せん

〔東京國通〕 本年最終の內政會議は廿八日開催されるが、後藤農相と高橋藏相間に於ける豫算問題に就て未だ意見の一致を見て居らぬが、明日の會議に於て後藤農相は左の點を強調するものと觀られてゐる

一、農業土木、經濟更生、諸對策の經費總額約二千萬圓を出來得る限り追加豫算として認められたし、全額不可能の場合は出來得る限りこれに近い額を承認されたい
一、豫算關係の折衝は今後事務當局間に委すとしても施設すべき項目のみは承認ありたい
一、殘された將來の對策は明春續いて內政會議を開き審議されたし

而して結局五相會議同樣農村問題も簡單な聲明を發表するものと觀られてゐる

提携斡旋に對し商相釋明

〔東京國通〕 山口政友會幹事長は二十一日午後一時半中島商相を訪ひ提携斡旋の眞意を質したが、中島商相は何等他意なく政黨が提携して議會政治向上を圖る一助となれば結構と輕い意味で兩派有力者が會合して懇談する機會を作つたので政民兩派、新聞社其他各方面で訊かれる故便宜上聲明書を出したと釋明し、午後二時會見を了つた

政民兩黨けふ議員總會

〔東京國通〕 第六十五議會は二十二日召集されるが國民同盟は昨二十一日議員總會を開催、政友、民政兩黨も本二十二日議員總會を開催するが、社會政策、思想教育策など山積し政民提携も具体化せる折柄從來と異つた議會風景を呈するであらう

商相の政民提携斡旋

軍部は反對意向

〔東京國通〕 中島商相は曩の聲明に先立ち荒木陸相を訪ひ意見を問ふた處關係外事項の故を以て意見は述べなかつたが、軍部では右斡旋は政黨財界が提携し、軍部に對する運動であり、帝國の現狀に對する認識不足の計畫なのが問題であると共に、中島商相が根本問題を顧みず斯かる斡旋をするは非常時內閣の一員として相應はしからざるものとしてゐる

滿鐵改組案に對する外務省の方針

主動的立場を執らぬ意嚮

〔東京國通〕 外務省では滿鐵改組に關し現地案と陸軍の意向とが提出された故これが國際影響を中心とし檢討して居るが時代に適する樣に改組を認むるも

一、滿鐵はポーツマス條約、北京條約にて獲得せる國家的權益なる故、改組問題も國家的見地で審議する
一、投資を阻止し不安を與へる故考慮すべし

との二點から漸進主義を執るべきだとし外務省では意見決定後陸軍、拓務に提示するが主動的立場を執らぬ意向である

認識不足が何をかいふ

改組案說明に小磯參謀長は上京などしない

滿鐵改組案が中央で種々論議され、關東軍から小磯參謀長の上京が傳へられてゐたが、目下のところでは「現地案の內容は今更說明しなくとも判つてゐる、又判らない樣な案でない心算だ」との見地から上京を見合せることとなつた關東軍としては「內地の認識不足な連中が何を言つてゐるか、監督權は三位一体の司令官が掌握するのが當然だ、滿洲國の統制經濟實現のために、飽くまで案の貫徹を期せねばならぬ」と非常な決意を有してゐる

須磨書記官福州へ

〔上海國通〕 南京總領事に任命の須磨書記官は二十二日當地發、二十四日福州着二十七日發、二十八日基隆着、卅一日基隆發、二日神戶着の豫定、一月上旬赴任の筈で尚當地太田書記官も今回歸朝を命ぜられ二月上旬歸朝の筈

ドイツより包米三千噸の註文

〔奉天國通〕 滿洲特產物の海外進出は最近著しく好調を辿り、先般ロンドンより大量の大豆申込があり、滿洲特產界は相當の活氣を呈して來たが今回ドイツ銀行は在奉ドイツ貿易商を通じ包米三千噸の大量買收斡旋方を依賴して來た右によつて特產業者各方面に購買人を派遣し買付中である

奉天省公署農產物貯藏倉庫設置準備

〔奉天國通〕 奉天省公署當局では農產物の下落は一は方策に起因するものであるが、大半はこれが販賣統制機關なき貯藏倉庫なき結果であるとし、各方面より農業倉庫の設置方請願中で、當局に於てもこれが設置具体案考究中の處この程成案を得、一方各方面の諒解も得たので近くこれが準備に取り掛ることになつたが設置の場合は大体山城鎭、開原、四平街、鄭家屯に決定する模樣である

地方の危害に備へ保甲制度を暫行

滿洲國政府では既報の如く地方の安寧を保持し緊急の危害を＝防止＝する爲、保甲及び牌の制度、即ち暫行保甲法を制定し、參議府の諮詢を得たので愈よ廿二日公布したが、右は十戶を以て牌とし村又は之に準ずべきもの＝區域內の牌を以て甲とし、警察署の管轄區域內の甲を以て保とするもので、市街地に於ては凡そ十牌を以て甲としてゐる保に保長、副保長各一人、甲に甲長、副甲長各一人、牌に牌長一人を置き、保長又は甲長は住民の緊急の危害を防禦する爲自衛團を＝組織＝し甲に引き續き一年以上居住する十八歲以上四十歲以下の男子にして公務院並に不具者以外の者も凡て甲の自衛團員として自衛團の經費は住民より之を徵集するものである。尚本法は當分の間興安省內には施行されず、各省長、北滿特別區長官、首都警察總監及びハルビン警察總長に於てもその管轄區域中治安狀況に依つて本法の施行を要せずと認める地方には民政部總長の認可を受け保甲及び牌の制度を施行せぬことが出來る、而して既存の由牌又は自衛團等本法の制度に類するものは凡て本法の既定に依る手續を爲し警察署長は保甲牌及び自衛團に類する從前の團体にして本法の精神に＝抵觸＝すると認められるものは解散を命ずることゝなつてゐる

外務參與官松本忠雄氏

〔東京國通〕 外務參與官西脇氏逝去に伴ふ後任については政府の依賴により民政黨に於て詮衡中の所愈よ民政黨所屬代議士松本忠雄氏を推すことに決定氏にこの旨傳へた、依つて二十二日の閣議に於てこれを正式に決定し、左の如く任命發表されることになつた

從五位 松本忠雄
任外務參與官（二等）

滿鐵辭令

經濟調査會員兼第二部主査 參事 奥村愼次
新京在勤幹事事務取扱を命す

小林參謀歸京

北支に出張中であつた關東軍の小林參謀少佐は二十三日午後七時半着列車で歸京する

福建浙江省境の要害

福建軍の手に

〔福州國通〕 福建軍は三方面より浙江省境に進擊し福建、浙江省境の軍事的要害は總て福建軍の手に歸した

國際文化振興發起人會

〔東京廿二日發國通〕 外務省では我國文化の紹介宣揚の爲め、省內に國際文化局設置を計畫、明年度豫算に所要經費を計上したが遂に削除の運命に遭つたので、廣田外相はこれに代る文化機關を設立すべく民間有志に諮りたる處、贊成を得たので、廿一日午後四時より外相邸に著名の實業家學者卅名の參集を求め、官民合同の國際文化振興發起人會を開催した

民間側は德川賴貞侯、樺山資英伯、黑田長成侯、岡部長景子、鄕誠之助男、大倉喜七郎男、串田萬藏氏（三菱）福井菊三郎氏（三井）兒玉謙次郎氏（正金）姉崎正治博士、高須芳次郎博士等が出席、先づ廣田外相より國際文化振興會の設立趣旨を述べ、之が贊成を求めたに對し鄕誠之助男一同を代表して極力支援する旨を述べ、今後同事進行に就ては特別委員會を設け人選は大臣に一任とし、同六時散會したが右の國際文化振興中央機關に要する費用は大体百萬圓で外務省の國際文化補助費二十萬圓を之に流用するも尚八十萬圓不足となるので今後各方面の寄附に仰ぐ事となつた

人事往來

▲笠大佐（步兵第〇〇旅）二十一日午後三時二十五分着哈市から
▲小倉田春雄氏外五名（軍醫學校）二十一日午後四時四十分着奉天から
▲鐵道第〇〇隊〇〇〇名二十二日午前五時着吉林から、同日午前六時二十分發鐵嶺へ
▲多田少將（軍政部顧問）二十二日午前八時三十分發哈市へ
▲鈴木中佐（同上）同上
▲寺田少佐（同上）同上
▲李文龍氏（吉林警備步兵第〇旅第〇〇團長）同上
▲張玉用氏（吉林憲兵第一中隊長）同上
▲增岡中佐（奉天憲兵隊長）二十二日午前九時發奉天へ
▲王成訓（中央憲兵訓練所中校）同上
▲永井チチハル總務廳長廿日來京國都ホテルに投宿中であつたが廿二日午後零時飛行機でチチハルへ
▲佐藤ハルビン總務處長廿二日午前十一時三十分發飛行機で赴任の途につく

海外經濟

▲銀塊及爲替

品目	相場
倫敦銀塊	一八片一六分ノ九
同 遠限	一八片一六分ノ九
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	[illegible]
米英爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]
スチール株	[illegible]
アナゴンダ株	[illegible]

▲上海標金

限月	相場
現物	[illegible]
一月限	[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]
七月限	[illegible]
九月限	[illegible]
十一月限	[illegible]

項目	相場
昨止	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
本寄	[illegible]
步値	[illegible]

▲上海日本向
第一回 [illegible]
第二回 [illegible]

▲上海倫敦向
買値 [illegible]
賣値 [illegible]

▲上海紐育向
買値 [illegible]
賣値 [illegible]

▲大連金鈔票
現物 [illegible]
寄付 [illegible]
步値 [illegible]
出來 [illegible]

新京市況

特產	現物	出來
大豆	[illegible]	三車
高粱	[illegible]	七車
包米	[illegible]	四車
小豆	[illegible]	三車

錢鈔

項目	相場
鈔票對金票	[illegible]
現大洋對金票	[illegible]
國幣對金票	[illegible]
現大洋對鈔票	[illegible]

▲大連上海向
▲大連煙台向

項目	相場
引値	[illegible]
安値	[illegible]
高値	[illegible]
出來	[illegible]

各地市場

▲大阪株式
▲同短期
▲大連株式
▲大阪期米
▲仁川期米
▲橫濱生糸
▲神戶豆粕
▲カルカッタ麻袋
▲大連特產

●麻袋 ●大豆 ●豆粕 ●豆油 ●高粱

（各相場 [illegible]）

試驗勉強に忙しい 各學校生徒達
冬休みもそつちのけの勉強
校長先生の話を聽く

満洲景氣の裏面に潜む試驗地獄!!! 樂しかるべき冬の休みも目前に迫る試驗の二字に身も心も奪はれて人知れず小さな心を惱まし子を持つ親や擔任の先生はそれこそ我がこと以上の懸命さであるが、小學校の準備的な教育と中等學校の理想的な試驗方法について新京市内の中小學校長の意見をきくと次の如く準備教育には反對であるか試驗方法としては全然撤廢されない限り現在のカモフラージ式の口問口答よりかむしろ筆問筆答の方が理想であるといふに一致してゐるやうである

新京中學校 矢澤校長談

明年も私の學校は筆問筆答の試驗はやらない方針でをります、試驗方法としては筆問筆答の方が理想でありますが從來この方法の缺點であつたのはむづかしい問題を少し課してゐたことでこれでは受驗者の眞の力をみることは困難です、やはり問題は採點上厄介でも平易な問題を十五、廿と盛り澤山に出す必要があると思ひます、口問口答は内申書に出來ると記入してあつてもどの程度に出來るのか出來ないとされてゐてもどの程度に出來ないのかその程度をみるくらひのもので私はこの口問口答にはあまり重きをおきません

新京商業學校長 東一郎氏談

私の學校ではずつと筆問筆答試驗をやつてをります、小學校の内申を重點において志願者の入學許可不許可を決めるのではありますが志願者は各方面の小學校から來るので甲の學校で一番であつたものと乙の學校で一番であつたものが必ずしも實力が一致してゐるものではなく乙の學校で三番の地位におつても丙の學校の一番よりかずつと頭のよいのがをるかも知れず一應は試驗にかけてみないとそれらの點が判然といたしません、口問口答もやります、これは小學校の内申書に亂暴な性質があると記入してありましてもどの程度に亂暴なのかそれが判らず一人々々の人物をみておくことも必要なことですからやつてをります、子供の實際の力をみるのはやはり筆問筆答でせう、こわい先生が五人も六人も並んでゐるなかへ一人々々呼出されて矢つぎ早に色々なことをきかれたのではよく知つてゐることでもつひあがつてしまつて答へられないことがあるものです、試驗があるから無理な準備教育をする、だから試驗はするな……といつたところで之は全く言ふべくして行はれないことでありまして如何なる方法をとつた處で全然無試驗で入學を許可しない限り準備教育が撤廢される答はありません

新京高女校 江部校長談

入學試驗は三月の七、八日ころになると思ひます、明年は事實ですが筆問筆答による試驗をするかどうかはまだ決めてをりません、筆問筆答に改めても色々な弊害があるので發表はいたしません、何れの方法をとつても一利一害はまぬがれんのですが自分は筆問筆答によるものが一番理想的であると思ひます、口問口答は愚も甚しいもので殊に口問によるものが筆答させるに至つてはお話にならないと思ひます、筆問筆答は智力の方だけに傾くからいけないといふ意見をもつてをられる人がなかにはあるやうですが勿論これを完全無缺なものといふのではありませんが現在の試驗方法としては筆問筆答法が一番理想に近いものであると思ふのです口問口答とちがつてこの方法は受驗者が五十人なり六十人なり一堂に會してかなり余裕のある時間内で答へればよいのですから眞の力を發表することが出來ますが口問口答になると内氣な子供は自分が持つてゐる平素の學力を充分に言ひ表し得ないことが多いと思ひます、筆答試驗をやらねば準備教育をやらぬかと言へば決してそうではありません、準備依然としてやつてをり子供は小學校の内申が主になるといふので度々考査を行はれてより以上の苦しみをしてゐると思ひます

室町小學校 上原校長談

この學校では準備教育や放課後の特別教育は少しもやつてをりません、準備教育といふのは要するに中等學校が小學校の教科外のむづかしい問題を試驗に出すためやむなく無理な準備もしなければならなかつたのでありますが現在新京は中等學校と小學校との連絡がよくされて小學校で習つた範圍内の極めて輕い問題しか出されてをりませんから、準備の必要はないと思つてをります、兒童本位の試驗方法としてはやはり筆問筆答によつたかがよいと思ひます、明年は商業、中學校、女學校ともに學級の增加をされ又ハルビンその外一ケ所に高等女學校も出來ますので兒童增加の割合には入學難でないと思ひますが兒童には一生懸命で勉強するやう言ひきかせてをります

西廣場小學校 瀬川校長談

最も無邪氣に又最も朗かに成育すべき時にある兒童に對して過重な準備的教育を施すといふことは試驗のあるがためとはいへあまりに慘酷であると思ひます!! 然し親の心を思ひ愛する數子のことを思へば空手これを放任することは情において忍べません、試驗のための準備教育はきつい御法度になつてゐるので私の學校では別に準備教育はしてゐませんが、六年の兒童はすぐに義務教育を終りますので放課後四時まで全學科の復習をさせてをります、中等學校への入學は小學校の内申が主体となることになつてをりますので自然在學中（五年、六年）の成績順位を正確公平にしなければならなくなりそれがためには考査を出來るだけ多くやつてゐるのですがこれが間接の入學試驗となる譯ですから兒童も實に眞劍で全く他人事とは思はれません明春の卒業生は男子が六十七人、女子が六十五人ありますが男子は二、三人を殘し女子も十五、六人を殘してその他は全部上級學校への志望であります、昨年は志願者の殆んどが入學したやうですが今年はなかなかさうはゆかないと思つてをります、なかには準備教育によつて兒童が苦しむことを將來の衞生上の訓練になつてよいといふ人もあるやうですが私はかゝる説には反對であります

在京各部隊へ 年末の慰問金
新京市民を代表し けふ時局後援會から寄贈

新京時局後援會では市民を代表して年末に際し在京駐屯各部隊にそれぞれ慰問金を贈ることゝなり二十二日勘崎副會長および稻葉地方事務所庶務係長は打伴れて、各部隊を歴訪し一々挨拶のうへ寄贈を終つた

各方面の同情義金 千五百圓近し
豫想外の多額に當局は感激

新京地方事務所並に滿洲社會事業協會の手で募集した年末同情週間に各方面から寄せられた同情金は既報の如く二十一日整理の結果は大体八百五十圓程度と豫想されてゐたところ事實は豫想を遙かに突破した、即ち二十二日正午までに全部の整理を急いだ結果、その總金額實に千四百三十一圓五十九錢に、なほこのほか糯米、白米、衣類などの寄贈もあつたが、その主なるものは

糯米一俵　井上勝治氏
糯米十六俵（内譯）簡易宿伯所三俵、兵士ホーム三俵一般貧困者十俵
白米十俵　松茂洋行
衣類百十七點　料亭曙女中さん一同

また現金では

五十圓　大和通六五 片淵カツさん
三十圓　曙町日蓮宗 日蓮寺内立正婦人會
十七圓　料亭曙女中さん一同

なほ筆頭として金十圓の寄贈者は武波善治、林金治、室町校幼稚園職員一同、うさみ、神谷與吉、河野スイ、佐藤精一、大滿蒙新聞社一同、松本繁之、トヨ、古賀信乃、梅屋旅館主の諸氏でその最低五錢十錢まで實に千五百名に上つたが中には可憐な兒童がわざく同情の手紙を寄せての寄贈もありまた無名氏の合計三十五圓に上り、これら世間の暖かい同情に當局者でも頗る感激してこれが分配に萬遺漏なきを期してゐる

街の日記

二千五百圓を拐帶逃走

市内常盤町一ノ四孫徴氏方ボーイ田春（二三）は二十日午後五時ごろ主人から預つた現金二千五百圓を拐帶逃走した目下新京署で犯人捜査中である

まだちよいく 驛前左廻り違反がある

新京驛前の雜踏緩和のため十一月一日から諸車左廻を實行し、頗る好成績を收めてゐるが、中にはまだ徹底しない者があつて自轉車乘りの違反が一日三、四回、自動車の違反が一週間に二三回はある、これ等違反者は新來者であるらしい、雇主同僚の方からこれ等新來者には注意を與へて欲しいと

新派遣部隊 あす來京

二十三日午後四時四十分安東から來京の新派遣部隊○○名は二十四日午前八時三十分發列車でハルビン方面に向ふ

寄附

市内中央通二十六番地室町小學校五年生宇戸悦一君は二十一日新京署貧民救濟會へ金三圓を寄附した▲千鳥町一丁目長野長廣氏は金二圓を同會へ寄附した

落しもの

▲吉林線盤石吉林騎兵支隊岡本義藤氏が二十一日午前十時三十分ごろ入船町四丁目から客馬車で南廣場電話局に行きその際車上に小包一個夏服物タオルその他時價十圓を置き待たせ約三十分の後ち出て見ると前記馬車が行方不明となつてゐるを屆出た

盗難届

▲砂山町二丁目新高製材所山尾金松氏所有羅紗オーバ駱駝毛皮時價五十圓外衣類二點を二十一日午後十時から翌午前零時の間に同町二丁目八番地新京製材事務所に掛けてあるを窃取された
▲朝日通二十二番地中川庄太郎氏方中川正三氏が二十一日午後六時三十分ごろ曙湯に入浴中オーバ時價百圓を窃取された
▲東四條通八番地飯村商店内佐々木義行氏は十九日午後十一時ごろ自宅押入においてあつた現金三十五圓が何者かに窃取されてゐるを發見屆出た

撫順炭坑東郷採炭所爆發 即死十四名を出す
原因は瓦斯の自然爆發

〔撫順國通〕廿日午前七時頃撫順東郷採炭所第廿一區の坑内瓦斯は突如大音響と共に爆發、現場に作業中の滿人苦力頭十四名は何れも即死し、五名窒息瀕死に陷り、十數名の行方不明者を出した、急報に接し前島採炭所長以下全員總動員して密閉作業をなし、救助作業を行ひ必死の努力を續けた結果十時に至り被害者全部を收容し、正午より發火個所を除く其他の採炭作業を開始した

爆發原因は瓦斯による自然發火と判明した

長崎醫大教授會 助手、副手彈壓か

〔長崎國通〕長崎醫大は午後二時より十時半まで教授會を開いた、教授會の内容は學内覺醒運動への對策らしく、運動の表面に立てる助手、副手等に文官分限令を適用して彈壓する模様である

沼田參謀東福主計宛 貴志喜四郎氏の遺書到着
内容は近く發表される模樣

事業の破綻か人生觀の行詰りか大きな疑問を殘して去る十四日夜關釜連絡船慶福丸から投身自殺を遂げた關東軍囑託大阪三品引取所理事貴志喜四郎氏の死の原因を闡明する唯一の鍵たる沼田參謀、東福主計兩氏に宛てた遺書は二十一日正午奇しくも大阪に於て悲しい葬儀の營まれつゝある同時刻頃飛行機便にて新京なる關東軍特務部に到着、直ちに待ち構へてゐた東福主計の手で開封されたが、うわ書には頗る達筆で沼田參謀殿、東福主計殿と墨書されてあり、遺書は二百字詰原稿用紙十三枚に一絲も亂れた跡なく死を直前にせる人とも覺えぬ冷靜さで書かれてあるが、前後の事情より推して船内で認めたものらしい、其内容は公務に關する事及滿蒙開發の前途に關する事が溢るゝばかりの愛國の情熱と至誠とを以て綴られて居り、最後に私人として後に殘る妻子の事どもが涙を以て訴へられて居り、生前人間として又同志として肝膽相照した東福主計は讀み終つて思はず[illegible]の涙を遺書に注いだ

死の原因については同主計は沼田參謀がハルビンから歸るまでは、内容を發表する譯には行かぬが、發表されたら生前同氏を知つてゐた人は、必ずや強い衝動を受けずには居られないだらう原因が何であつたかは、今暫く待つて呉れと口を緘して多く語るを避けてゐたが、同主計の素振りより推して其内容は相當突込んだ事を書いたものであり、死の原因は貴志氏が一身を賭して完成せんとした滿洲での事業の行詰りであつた事を想像するに難くない、尚右遺書は直ちにハルビン出張中の沼田參謀の許に轉送されたが、同中佐歸京と共に、公にされる筈である

滿洲國ニュース映畫 菱刈大使から執政に贈呈

米國發聲映畫會社フオツクス社が、滿洲國々情紹介の爲め製作中の滿洲國ニュース三卷は此の程ニューヨークの本社に於て完成したので、ニューヨーク堀内總領事を通じ外務省に送付し來つたので、外務省では更に菱刈全權より執政に獻上すべく、約一週間前當地大使館に輸送して來たが而して目下各方面で内容檢閲中であるが、近く大使より執政に贈られる筈

部長試驗 新京署の合格者

既報の如く關東廳警察局では去る十一日全滿各署で巡査部長試驗の筆記試驗を行つたが新京署の合格者は左の八名である、なほ合格者は二十六日奉天署で口述試驗を受けることになつた

筆記試驗合格者池水喜一（司法）林知々（警務）吉田松夫（外勤）乾新一（外勤）池邊憲一（衛生）佐渡谷勳（高等）瀧澤清次（領警署外勤）池上榮一（領警署内勤）

又東京帝大、慶應出身の助教授九名も教授連と行動を共にするに決定した、小宰學長は正午檢事局の黑正檢事正を訪問し協議を行つた

文部當局 長崎醫大教授全部の辭表却下

〔長崎國通〕長崎醫大教授全部の辭表提出に文部省では學業及病院經營上其他の關係から辭表は、全部これを却下し問題の一段落後あくまで辭職を希望するならば之を考慮することとならうといはれてゐる

銀盤上に躍る若人 延人員二萬三千
夏に劣らぬ西公園

踊る!踊る!スケーターは踊る!西公園の銀盤にあざやかな技を思ふ存分に操つてゐる十二月一日から開場した同スケートリンクの入場者は一日二千三百名、二日一千八百、三日一千名、四日千名、五日二千五百名、六日二千三百名、七日一千五百名、八日五百名（雪天）、九日二百名、十日二千八百名（奉天高女來場）、十一日七百名、十二日一千四百名、十三日三百名（五時から開場）、十四日七百名、十五日五百名、十六日休み、十七日二千名、十八日四百名、十九日五百名、二十日三百名で二十日までの入場延人員實に二萬三千百名の多きに昇り、冬の西公園は夏に劣らぬ繁昌振りを見せてゐるが、なほ現在の氷上會員は、一般大人が八百名一般小供が四十名で、夜間よりは晝間午後四時頃から五時半頃までの子供の出盛る時刻が一ばん賑かである

鐵管が破裂 けさ水害騒ぎ
けふ中に修繕なる

新京第二水源地から新給水塔に送水する鐵管が破裂し新給水塔下に放水してゐるを二十一日午後四時ごろ發見し地方事務所水道係員が並に新京消防隊から消防喞筒二台を急派しあふれた水を吸出し鐵管の大修繕に取かゝつてゐるので二十二日中には改修の豫定である、原因は本年十一月鐵管を埋める際鐵管の片方を堅く他の片方を緩るく結んだ關係である、幸にして一般給水には差つかへがなかつた

年末年始の稅關のお休み
一般に御注意のこと

滿洲國及び朝鮮における稅關では年末年始に際し左の通り休廳する

大連及び安東滿洲國稅關は三十一日から來月三日まで安東及び朝鮮稅關は三十一日から三日及び五日まで

同期間中は一般貨物及び小荷物に對しては通關を許さないが、小荷物及び貨物中でも鮮魚、生果、野菜類の如く急送を要するもの、並びに手荷物及び附隨小荷物は平常通りこれが取扱ひをなす、又安東驛においては一車扱ひ石炭は毎日、其の他の一車扱ひ貨物は一月一日を除くの外は臨時開廳して通關手續をなす、なほ滿洲國輸入小口扱ひ貨物にして十二月二十八日午後零時まで、滿洲國輸出小口扱貨物にして來る二十九日午後零時までに安東驛に到着したものは休廳前に通關續送可能の豫定である

池谷信三郎氏

〔東京國通〕小説家池谷信三郎氏は午前四時四十分肺炎で急逝した享年卅四

けふの銀相場

鈔票對金票	一二一・八〇
現大洋對金票	一〇九・三五
國幣對金票	一〇九・三五
現大洋對鈔票	九七・七〇

慶安異聞 艶魔地獄（百二十八）

玉水三郎
（畫）長谷川小信

さゝめ言（七）

天文地理醫陰之兩道、十能六藝武藝十八般教授所としたる、楠如輪堂の板看板を掲げ、堂々と楠家の末流、菊水の定紋を用ひ、由井民部介橘の正雪と號してゐる。

生れは駿州由井の宿、紺屋の倅富士太郎と言つた天稟の才ある者。軍學者楠不傳正一から吹込まれた尊王思想の持主である彼。

何事か近く計畫しつゝあると見え、多くの同志に依つて、人知れず秘密結社が作られてある。

同志とは誰々、吉田初右衛門、金井半兵衛、熊谷三郎兵衛、丸橋忠彌、僧賢靈等以下、其數は百人以上に及んでゐる。

武藝鍛錬に名を藉りて牛込榎町なる正雪の道場其他、各所に秘密會を開いてゐた。

其結果として今井半兵衛、吉田初右衛門は大阪に旅行し、熊谷三郎兵衛は京都へ急行した。正雪も亦駿府へ密行した。其日丸橋忠彌は江戸中を奔走して、夜に入つて正雪の道場に歸つた。

内弟子の一人が、

「丸橋先生、夕方に、妙な男が先生を尋ねて參りました」

忠彌は常に警戒を怠らぬものゝ如く、注意は綿密であつた。

「ナニ妙な男とは……」

「粗末な服裝をしました三十恰好の、マア職人風と申しませうが、それで物言ひぶりは職人らしくなく、却々確かりして居りました。本郷弓町へお尋ね致しましたら、當御道場へお出しとの事で、丸橋先生にお目通り致したく參りました……と斯樣に申しました」

「ウーム職人體――物言ひの確かり――ハテ心當りがないが、其者の姓名は……」

「エヽ――何とか申しました――牛込肴町――小島三平とか申しました」

「オヽ左樣であつたか」

忠彌は初めて顰めた眉を開いてにつこり。

「オヽ參つたか、會ひたかつたが……で何とした」

「未だお歸しがないと申しましたら、何れ近日弓町なり、當御道場へ伺ふ。先生へ宜しくと吳れ〲も申殘して歸りました」

「オヽそれで可い。實は拙者から三平方を訪はんと存じ居つたが、貧しき生活の中へ尋ね行くも亦迷惑にもならうかと、ツイ遠慮致し居つたのである」

「ヘエー、先生には妙な御知己がございますな。あの人は何ういふ身の上の……」

「イヤ以前の事は聞かぬが可い。唯今は見る影もない植木職の日雇稼ぎである」

「左樣でございますか」

「人は何時禍に陷つて、零落せぬものでもない。人間の浮沈は判らぬものである」

「仰せの通りでございます。榮枯盛衰は世の常」

「イヤ異な事を申して、何となく氣も心も滅入つたやうぢや。勝手へ參つて酒肴の用意を致させて吳りやれ」

「畏まりました」

丸橋忠彌の強酒は、道場一般の知る處であつた。

其夜は獨り忠彌が太たか酒を呷つて、弓町の宅へは歸らず、

「今宵は、由井先生のお留守を致す」

と、遂に其夜泊つて了つた。

十二月二十三日 土曜 癸亥 大安 閉 女宿

●一白の人 食慾は情義を失ひ身を滅すの甚さなる注意 辛さ癸さ丑が吉
●二黑の人 親密を欠くさきは萬事に惡影響を及すべし 乙さ戊さ壬が吉
●三碧の人 快刀亂麻を斷つ如く大に奮起努力するに吉 丙さ庚さ寅が吉
●四綠の人 堅實に活氣を添へて事を處斷すべし病注意 辰さ庚さ寅が吉
●五黃の人 釣上げし獲物は腐れ繩にて明待に外るゝ日 乙さ丙さ壬が吉
●六白の人 萬事優勢に展開を來たすべき日記業開店吉 甲さ丁さ申が吉
●七赤の人 腰を据えて押强く定業を守り利自ら加はる 丁さ申さ戌が吉
●八白の人 出獵一兎をも得ず空しく歸る如き無功の日 丙々丁さ亥が吉
●九紫の人 往き先に難み多し足拵らへの嚴重なるに吉 甲さ辰さ戌が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行
×三等船客設備船（午前十時大連出帆）

船名	出帆日
×しあとる丸	十二月廿四日
亞米利加丸	十二月廿五日
うらる丸	十二月廿六日
はるびん丸	十二月廿七日
×たこま丸	十二月廿八日
香港丸	十二月三十日
うすりい丸	一月一日
ばいかる丸	一月三日

●切符發賣所 滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビューロー案内所
船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引。通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃一割引通用期間三ケ月）
●專屬荷扱所 各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社 大連支店 電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番 新京出張所電話二三一六

新京日日新聞

皇后陛下 御慶事は兩三日中に
宮內當局 殊の外緊張

（東京國通）皇后陛下の御慶事は塚原侍醫の拝診によると御間近い模樣で、皇后宮職、宮內當局は殊の外緊張して居る、御經過は御順調で兩三日中には國民鶴首の御喜びあらんと拝察される

御慶事速報の 新京放送局準備整ふ

國民一般に御待望申上げる雲上の御慶事を新京市民に一刻も早く報道する爲め新京放送局では大体次の樣に報道準備をしてゐる、即ち午後五時から九時半頃の間であればＡＫから直接這入つたものを中繼放送に依つて報知する事、それ以外の時間の場合は東京中央電報局から新京中央電報局へ入電次第放送するが恐らく他の方面からの知らせよりも最も迅速に報道する事が出來得やうと、尚は正月には同放送局から菱刈軍司令官の年頭の挨拶を放送する事となつてゐるが右は元旦午前十時から齋藤首相の年頭の辭かＡＫから放送され終つた直後から行ふものである

依願免職 任興安總署次長 敍簡任一等 依田四郎
任哈爾濱特別市公署理事官 敍簡任二等 佐藤正俊
哈爾濱特別市公署總務處長に派す
總務院總務廳理事官 神尾弌春
同事務官 小泉三郎
同 中色國
同技正 相賀象介
官衙建築委員會幹事を委任す
（各通）民政部屬官 根本龍太郎
轉任大同學院屬官（委任二等）
任大同學院屬官（委任二等） 鳥飼健

各銀行貸出 國幣がとみに増加

新京市內組合銀行の十一月末帳尻は、金圓預金四千百五十一萬五千二百四十五圓十四錢（前月に比し二百十一萬三千七百二十六圓三十四錢増）貸出八百九十九萬千百十二圓二錢（五十二萬五千百六十六圓六十八錢増）で、銀は＝預金＝六百四萬三千四百四十五圓十一錢（四千七百八十一圓九十六錢減）貸金七十七萬千二百圓九十七錢（二萬九千五百四十一圓八十一錢減）國幣預金六十四萬八百九十三圓五十三錢（二十萬千八百三十九圓八十四錢減）貸出四十七萬二千八百七圓八十八錢（五萬七千九百九十四圓七錢増）となつて居るが銀の貸出しが減じて國幣の貸出が多くなつたのは、今まで銀で、借りて居たものが、變動の少い國幣を借りるやうになつたためである、尚正金、鮮銀を除く他の銀行は建築資金の貸出をしてゐるが、この建築資金の貸出しは泥棒に＝追錢＝で、柱を二三本建てた時から貸出を受けるため、銀行としては、その家が出來上らねば擔保にもならず、遂には、家が出來上こまでさ三回が四回に亘つて貸出す結果さなり、家屋景氣が出てゐる際さは云へ總額の約二割位の回收不能が出來るので利子も高く、三錢五厘から五錢の日歩で貸し付けてゐる

商標代理許可

滿洲國商標局におけるその後の商標手續代理許可人名は左の通り

鶯淵說男　桑野四郎　富永是保　星子末雄　高橋猪兎喜　石垣悌次　田口純男　山本茂　寺島穎三

滿洲國辭令

興安總署次長 菊竹實藏

滿鐵改組に關し 軍部愼重に
參本及陸軍省首腦者に 白紙で意見を求む

（東京國通）陸軍では滿鐵改組現地案を審査中だが、昨日陸軍省及參謀本部の首腦者に對して現地案に拘泥せず白紙で改組に對する意見を提出するやう通達した

政民兩黨 議員總會 對議會陣容を整ふ

（東京國通）政民兩黨では二十二日それぞれ議員總會を開催、對議會陣容を整へた、即ち政友會では午前十時より總務會を、同十一時より幹部會を、午後零時半より常議員會を開催、それより午後二時議員總會を開催、鈴木總裁より黨の方針さ結束を高唱する演說あり引續き代議士會を開き院內總務の選擧を始め、諸般の手續きを了して散會した、

一方民政黨では午前十時より幹部會を開催、引續き午後一時より議員總會を開き院內役員の選擧等諸種の手續きを了し散會した

日印會商も愈よ近く大詰
最後態度決定訓電

（デリー廿一日發國通）三ケ月に餘る日印會商も愈よ終局に近づいたのでデリーの空氣は俄然緊張を增して來た、廿一日は印度側との間に何等折衝は行はれなかつたが、日印双方共クリスマス迄には主要な諸問題を原則的に片附けて了ふ決意を固めてゐるから我代表部でもそれに間に合ふ樣日本政府が廿二日の定例閣議で最後的に日本の態度を決定した上、重大な訓電を寄せるものと手ぐすねひいて待ち構へてゐる

近く滿足な協定成立
ボーア長官言明

（デリー二十二日發國通）日印會商は愈よ最終の大詰めに入つたが爲替變動補償條項並びに品種別比率融通限度等に就き日印兩國代表間に意見の一致を見ず、更に技術的細目協定の餘地を殘して居るが印度中央立法會議二十一日の會議で果然野黨側から日印會商に關する質問が出で殊に棉作業會が協定の達成に多大の期待をかけてゐることが明白となつた、野黨院內總務ボンベイ支部選出議員シユハタール氏は、ボーア長官に對し、政廳は日印會商の經過に就き聲明し得る立場に在るかと、先づ質問の第一矢を放つたが、右質問に對しボーア長官は次の如く答辯した

「日印會商は多大の進捗を遂げ政廳としては近き將來に滿足な協定が達成されるものと期待してゐる」

學良の北支入りは不可能だらう
滿支方面視察を了へて 門司で有田大使語る

（門司國通）約二週間に亘つて滿洲國及び北支を視察中だつた有田駐白大使は二十一日門司寄港の商船長江丸で歸朝し、同夜下關發特急「富士」で東上したが、氏は語る

大急ぎの旅で只現地の政情を觀察し要人達と舊交を暖めて來たに過ぎぬ、張學良の歸國で北支は稍々動搖してゐる樣だつたが黃孚が頑張つてゐる關係もあり學良の北支入りは不可能だらう福建省新政府と學良の歸國は密接デリケートな問題である

なほ有田大使の赴任は來年一月中旬頃の豫定である

大同佛教會
全滿に法悅を普ねからしむ

新京に成立した世界大同佛教會は成立以來佛法を宣傳し人心を匡救して人類道德の增進を目的さなしてゐるが、奉天事務所はすでに工業區五馬路に設立、二十一日成立式を擧行したが、該事務所にては各縣に分會を設立の爲め着々準備中で先づ手始めに遼陽、遼中外七縣に分會を設け其餘の各縣は宣教師を派して分會設立の機運を釀成せしめる事さなつた

大家連の 日本畫即賣展
廿四五兩日商業で

帝國美術協會では地方事務所社會係後援で明二十四日と二十五日の二日間每日午前十時から午後五時まで商業學校で東都日本畫展覽即賣會を開催するが出品畫は全部東京で表裝ずみのもので直ちにお正月の床の間用として間に合ふもので

大觀、玉堂、栖鳳、五雲、十畝、翠雲、春擧、龍子、百穗、廣業、不折、小虎、蓬春、多門、櫻谷、深水、春水、忠夫、白甫、周山、龍岬、國觀、謙次郎、哲三、柳畝、耕石、青雲、南歩外數十名

大家の名作のみで新京には珍しい展覽會である

大阪地方の共產黨分子に 徹底的の彈壓
總數千五百三十名を檢擧 ＝きのふ記事解禁＝

（東京發國通）本年二月十一日の紀元節當日建國祭鬪爭を展開した在阪極左分子の逮捕取調べにより、はしなくも大阪府廳、大阪帝大醫學部、大阪商大、大阪高校、高槻高等醫專、各學校、山口、野村、卅四、大阪貯蓄各銀行、勞農辯護士團等あらゆる社會層に「赤の組織」が侵潤してゐる事を探知した府特高課では直に檢事局の指揮を仰いで、同十七日新聞記事の掲載を禁止するさ共に黨組織の潰滅、特に非合法運動の源泉たるシンパ網の根絕を目ざして大檢擧の陣容を整へ、菊地特高課長以下思想、勞働、內鮮各係總動員の下に大活動を續けた結果十二月九日迄に總計千五百卅名に關する大檢擧を斷行し、起訴者百七十八名（內黨員九十名、黨同盟員五十六名、全協メンバー十九名、シンパサイザー十三名）を出したが一段落に達したので、廿二日午後一時記事解禁した

三月十二日天王寺區石ケ辻町街頭にてビラ散き中の黨關西地方委員長藤本仁太郎（二三）、同アジプロ部長本木鐵治（二六）文書配布責任者神崎傳司（二三）が特高椿本警部等の手で一擧逮捕、翌未明には膝本のアヂトを襲ひ、ピストルを枕下にした女黨員黒木好子（二五）文書保管係大橋靜一（一七）を逮捕し、實包二十四發、現金五百圓、黨文書多數を押收し、巧みに逃れた關西地方委員會組織兼婦人部長小田切シゲノ（一九）が陣容建直しに狂奔中を神戸市委員會責任者一文字政一（二三）元好景（二三）地頭壽子（二四）等さ相ついで檢擧し、市電部島天王寺兩車庫の共青メンバー卅四銀行築港支店大塚彌六（二二）同興瀬備支店松本四郎（二三）外山口、大阪貯蓄、野村各銀行にもグループを發見續々檢擧した、かくて活動の首腦部を失つた黨では家屋資金部關西出張所長として草野悟一（二四）四月には關西地方委員會再建オルグさして星野芳樹（二五）七月にはその後任オルグ重松鶴之助（三一）を相ついで東京から派遣したが何れも暗礁の門途にあたつて脆くもその筋の手にかゝり共靑大阪市委員故陸軍少將木田伊之助氏長男慶大半途退學木田進（二四）情婦岡本清子（二四）大消俊（二四）等もこれに前後して檢擧され、アジトでも四名の分子が捕はれ左翼陣は息つぐ間もなく次々に粉碎しつくされた

○

一方全協は共靑、全農全會派と結び本年一月堺市議選擧にあたり堺市神明町東三丁目白米商石角勇信（三〇）を推薦候補に押し立て表面中立を裝ひ全協地協常任委員磯谷寬一（二四）が指導して組織の擴大强化に努めたが一味十七名全部檢擧をみたので昨年八月中央委員長を辭した高江州重正（三〇）が一月中旬組織建直しに來阪、秘かに大阪工廠に潜入を企て、同月廿八日西成區橋通七丁目の隱れ家で支部擴大會議を開いてゐたところを高江州外卅名を一網打盡にした外次々に細胞フラクションを發見しては檢擧、遂に潰滅に歸せしめた

シンパ網の全貌も明るみに

尚この他黨外廓運動として大阪大正區鶴町四丁目公衆病院長岩井弼次（四〇）は三月事件直後患者であつた軸川幸吉の影響をうけモツプルに加盟し全協日醫大阪支部を結成し同年九月には中央委員田井賢七のシンパとなり一度は檢擧されたが、放還と共に、田井の連絡を恢復、正式に入黨し千五百圓の資金を貢いだ外友人關係から大阪府社會課社會事業主事（高等官五等待遇）川上貫一（四六）同課囑託日本女子大出身岩崎盈子（二八）大原社會問題研究所員越智道順（四一）府廳內內鮮協會主事三木正一（四一）を勸誘してシンパに獲得、三千五百圓を提供せしめた事發覺川上、岩崎二木の府廳關係者は何れも執務中檢擧免官の上起訴された他大阪帝大醫學部では鈴木省三外十名、帝大、商大、高校高醫各校から四十五名の左翼學生を檢擧し五月二十七日海軍記念日に市立運動場全市小學校教員體操大會に際し反戰ビラを撒布した赤い小學教師（二九）藤原校同山中林之助（二三）市內南大江校訓導中岡榮喜（二五）を檢擧、更に四月二十七日にはコップ大阪地協が叩きつぶされ、七月十一日には昨年八月東京不動貯蓄銀行白山支店から行金一萬數千圓を持逃げした資金局サラリーマン保木村信次（二八）を中津署員が逮捕し、同十七日には大立物草野悟一（二四）を逮捕した結果シンパ網の全貌が明るみにさらけ出され「お嬢さんグループ」と呼ばれる某銀行松本秋子（二六）外某石油會社員等々四十五名に上る資金の蔓が刈り取られ十一月十五日には伊藤復志雄（三三）加藤光（二五）垣見周瑞（二五）浪速源次（三二）の勞農辯護士團大阪支部のメンバー四名を檢擧したが更に引續いて反帝同盟、日本赤救兩大阪支部をも殘らず檢擧し、茲に大阪地方に於ける左翼組織は全く潰滅に歸した

北鐵滿ソ從業員の 內部的の反目
全線的に表面化か

（ハルビン二十二日發國通）北鐵全線の滿ソ兩國側從業員は內部的に相反目しつつあるが、その一つの現れとして問題となつて居る博克圖驛從業員間の抗爭はソ聯側の暴擧に對する張副管理局長のルデー局長に對する警告聲明によつて問題の中心は遂に北鐵中央部に移れる形となつたが、右に依り兩國從業員間の抗爭は全線的に表面化する虞れあるに至つた、尚張副局長の警告とは博克圖驛の情況はソ聯職員の行動により常態を失つたものあり、近來特にその度を加へて居る、ソ聯側幹部の挑發的行爲は鐵道の組織と正常なる業務に對し甚だ危險と考へられるので、彼等の不法命令は絕對に實施し得ず、依つて今後この爲發生せる紛糾の責任は全部ソ聯側にありとせるものである

新京の家賃は 東京の約二倍
疊一枚が四圓卅錢

滿國地方課社會係の調査に依ると滿洲主要都市に於ける家賃の平均價は過去三ケ年に亘つて次の樣な變遷をみてゐる昭和六年度十月の調査に依れば疊一枚當りについて大連は一圓四十錢、奉天は一圓六十錢、新京は一圓七十錢、安東一圓四十錢これに對し東京は二圓四十錢であつたが、七年度になると大連一圓四十錢、奉天一圓七十九錢、安東一圓四十二錢、新京三圓六十錢、東京二圓二十四錢となり今年度八月に入つて大連一圓五十九錢、奉天二圓五十錢、新京四圓三十錢、安東一圓六十三錢、東京二圓二十四錢となつてゐる

滿洲國首都新京の家賃は都市の伸張繁榮に比較して年々他市とは問題にならぬ程の上昇を續けてゐる

城內小學生の 文藝競技
教育會の試み

去る十一月四日發會式を行つた新京特別市教育會は數回に亘る理事會の結果、本年度の實施事業を決定し、その第一着手として去る十日學業獎勵の目的で、市內全小學校の選拔生文藝競技會を擧行したが更に來る廿四日正午より自彊學校に於て許文教部次長、執政府實內務處長を講師として「王道精神」「建設時に於ける教育者」等の題目の講演を行ひ、閉會後兩氏を中心として研究會を開催する事となつた

山口中佐以下五十六名 追起訴さる

（東京國通）曩に殺人放火豫備罪として起訴された神兵隊被告取調べから山口中佐等は强力な爆發物を使用して戰慄すべき大陰謀あつたことが判明したので、中佐以下五十六名の全被告は爆發物取締罰則違反の重罪で追起訴された

師走の街頭に微笑ましい話題

忘れたお客の包みを抱へてわざ〳〵警察へ

警官も感激して謝禮十錢也　親切な馬車屋さん

一時間半の馬車代が一金一錢也で大騷ぎした事件と日を經過して二十一日午後一時ごろお客の忘れ置いた風呂敷包を警察官東派出所へ屆出た感心な馬車夫があつた、その日市內富士町四丁目二十六番地田中某は城內三馬路から件の馬車で午後一時ごろ

『歸宅』したがうつかり脇に持つてゐた風呂敷包（衣類數點）を置き忘れて車を降りた後で氣がついた時は既に馬車の姿は見えず仕樣なく最寄りの富士町警察官東派出所へその旨屆けた、一方馬車夫は田中某を降して道の四五丁行つたところで後を振り向いたら件の風呂敷のあるのを發見して直ちに前記派出所に屆け出た、當番の田村巡査はこのごろ滿人馬車の風評の惡い中にも斯樣な感心な美事にすつかり感激して、有合せの十錢白銅をポケットから取出して馬車に

『謝禮』として渡したら馬車夫も氣持をよくシエ〳〵を連發して立ち去つた、田中某はそのことを該巡査に聽いて感謝して十錢を田村巡査に返してお禮を述べた

執政府の元旦觀賀儀式

當日の次第きまる

一、大同三年元旦午前九時三十分以前に執政府各官および各府院部署局處の特任及簡任各官は齊しく執政府候見室に集り觀賀の禮に參すべし

甲　上列各府院部署局處の特任簡任各官は大同二年十二月二十八日以前職名を明記して掌禮處に屆出ずべし

乙　元旦、執政府に出頭の際は必らず名刺を掌禮處に差出すべし

丙　年賀各官は藍色の長衣に黑の上衣又はモーニングコートを着用すべし

二、午前十時　奏樂と共に執政は勤民樓禮堂に於て左の順序を以て觀賀を受く

第一班　侍從武官、侍衛官
第二班　府內特簡薦任各官
第三班　國務總理及各府院部署特任官大禮官導引
第四班　各府院部署局處簡任官—禮官導引

以上均しく三鞠躬の禮をなし禮終つて退出勤民樓前に於て紀念撮影

三、午前十一時三十分　執政は禮堂に出て侍從武官侍衛官、外交總次長、翻譯官侍立の下に外賓觀賀の禮を受く

日本全權大使は參贊各官を率い大禮官案內にて禮堂に入り執政に對して觀賀の禮をなす

四、午後二時　執政は代表を日本全權大使館に派し答賀の禮を行ふ

五、觀賀の列に入らざる本國及外國人員は均しく掌禮處に名刺を差出し署名簿に記名することとし處はこれを取纏めて執政の御覽に供す

よもやま

新京婦人倶樂部　二十六日發會式

豫て組織をみてゐた新京婦人クラブでは二十六日午後六時半から日滿および外人二百余名を招待し新京高等女學校講堂で盛大な發會式を舉げることゝなつたが、同夜は特に軍部に依賴して借り入れたフィルムの映寫もすることになつてゐる

京鐵管內　無事故日數

新京鐵道事務所管內各驛機關區內の十二月六日現在無事故日數左の通りである

新京驛二三日　四平街驛二五日　開原驛二三四日　機關區四平街八七日　新京一二三日　驛區鐵嶺四日　公主嶺九六日　新京二五日

出雲算盤　新京では好評

島根縣では同縣産をドシ〳〵滿洲へ輸出すべく滿鮮出荷斡旋に懸命の努力をしてゐるが松江の石鹽鐵、木次の和紙、出雲算盤、陶器、水産、工品、島田の筍罐詰等好評を博し新京奉天方面よりも注文引きも切れぬ盛況で新興都市の人口增加、商業の發展に伴ひ出雲算盤の賣行は殊に旺盛で當業者は大喜びである

王道樂土の　ポスター配布

滿洲國政府では全國の治安も確立し事業更新していよ〳〵大同三年を迎へることになつたので王道政治の理想である民生の充實と文化の向上を象徵したポスター五種類五十萬枚を製作して全國內に配布することゝなつた

紅卍字會の慈善粥　昨年の十分の一

紅卍字會が主催者となつて寒氣と飢餓のために正月も出きないと云ふ哀れなルンペンを救ふため城內三、四ケ所でお粥を惠んでゐるが今年は昨年の一日平均二石に比し僅かに二斗で延人員は昨年の四千人に比し是又十分の一と云ふ激減を見せてゐるが、これ新興景氣に恐へた好景氣來が齎らす現はれと見られ一面滿洲國の王道政治が樂土化されつゝある現象である

野犬撲殺　既に百十二頭

新京署衞生係では既報の如く新京消防隊と協力し市內の野犬撲殺を去る十八日から實施してゐるが二十二日までに撲し殺た數が百十二頭である

本年掉尾の視察團　京城から着く

在鄉軍人京城鐵道分會主催の視察團五十名は來る二十八日京城出發京圖線沿線視察見學のうへ新京に二十九日午後九時三十分著三十一日午後十時發列車で奉天へ向ひ二日京城へ歸るが本年における新京視察團はこれが掉尾であらう

天氣と氣溫

けふの天氣豫報は西の風曇後晴、きのふの氣溫最高零下十度九分最低零下十九度四分

貧しき人々へ同情金の割當

きのふ打合で決定

既報の通り新京地方事務所、滿洲社會事業協會主催の年末同情週間は去る二十日をもつてメ切られたが一般市民の溫い心からの同情金の集りは意外の多額に上つたが、二十二日午後二時から、地方事務所長室に荒木所長を始め松藤新京署保安係、上原笛木各學校長小澤、田中、小松、田中、各區長、赤木聯合婦人會幹事その他キリスト敎女子青年會代表者、社會係から野村社會主事ら集つて同情金の分配方法につき協議し午後三時半解散したが協議の結果左の事項が決定した

分配の範圍

△警察調査の分內地人二戸朝鮮人十七戸無料宿泊所內三十五名

△居留民會調査の分、內地人二十戸（六十名）朝鮮人十戸（二十五名）無職者十二名

△普通學校調査の分六十二戸

合計內地人二十二戸ほか四十七名、朝鮮人八十九戸で分配金額はそれ〴〵適宜な金額を割當て、なほ殘金中から滿洲國側社會事業協會の手を經て滿洲國側貧困者に金一封寄附したほ殘額は濟生會の方へ廻して極貧者へ適宜な方法で分配することになつた

國都の交通機關はバスを主体に

電車は敷設せない　國都建設局の方針決定さる

現今都市交通機關には市街電車、自動車、乘合自動車、高架鐵道、地下鐵道、鐵道等の種類があるが、國都建設事業

『區域』內に此等の中何れを主たる交通機關として採用するが現在及將來の爲め最も得策であるかにつき國都建設局で比較研究中だつたが高架鐵道及地下鐵道等は現在の新京には未だ其の必要なく電車は其の建設費に於て多額を要し、建設費に對する收金割合不利の爲め實現甚だ困難で既設都市の大部分は經營難の狀態にあり、斯の如く電車が事業費多額を要する爲め建設費の低廉且輕快にして敏速なる「バス」が利用せられる傾向に鑑みて國都の有機的機能の能率を十分發揮するには諸官廳所在地、商業、住居、工業等の各地域制と自動車交通機關系統を巧に按配し必要車輛數に應じ自由に車台數を增減すれば其の目的を達し得られるといふので國都建設計畫區域內に於ける交通機關は

一、幅員二十米以上の路線は「バス」を以て交通機關の主体となし

二、其他の路線は在來の乘用馬車、乘合自動車を以て交通機關の主体とすることに方針が決定された

長春座は松竹專屬

二十六日から開演

問題に問題を重ね重役並に株主各興業者の三派が紛糾を重ねてゐた長春座も新京署井上保安主任の斡旋で解決を見た結果、重役側と松竹とが提携し二十六日から松竹專屬で映畫を開演しなほ一ケ月のうち一週間以內は臨時興業を開演することに決定した、新京署保安係では二十二日重役を同署に招き營業上の注意をした

名士の漫談（十五）

浮草稼業は何處でもおなじ

滿洲國鐵道司長　森田成之氏

記者「お正月はごうされます」
森田氏「こんなに寒くてはごうしやうもありませんね」
記者「旅行でもしませんか」
森田氏「そんな暇があればうちでゆつくり寢ころんでをりますよ」
記者「それが一番無難でよいでせうね」
森田氏「君はごこかへ行きますか」
記者「僕は暇はあるのですがごうも先だつものがありませんのでね」
森田氏「恐れいりますね」
記者「滿洲には永くをられますか」
森田氏「十二、三年になります」
記者「滿洲國に入られるまではごちらに」
森田氏「滿鐵に」
記者「滿洲國の役人には滿鐵から隨分入つてをられますね、ごちらが面白いですか」
森田氏「面白いさは」
記者「仕事の方です」
森田氏「大同小異別に面白いといふ程でもありません、忙しいやうでないと仕事は面白くなし、忙しければ雜儀をせねばならずで結果は相反しますからね、浮草稼業はごこでも同じですよ」
記者「煙草はのまれないさうですね」
森田氏「煙草はやめたのです」
記者「酒は」
森田氏「酒は今からやめやうと思つてをります」
記者「えらい又御發心ですね」
森田氏「別にとりえのない人間だからごこかちがつたところがなければ……」
記者「寫眞を一枚お願ひしたいのですが」
森田氏「寫眞なんか出されては困ります」
記者「今出す譯ではないのですが何時必要なことがあるかも判りませんから」
森田氏「必要な時にはあげます」
記者「そんなやぼなことを言はないで貸して下さい」
森田氏「今少しえらくなつたら寫眞に出してもらつてもよいが今は困る」
記者「まだえらくなるのですか」
森田氏「冗談言ひなさんな」

愈よけふから樂しいお休み

各中等學校終業式

けふはいよ〳〵昭和八年最後の登校日だ、普通は二十五日まで授業があるのだが二十五日は大正天皇祭で休み、お負けに今年は二十四日は日曜と來て終業式は二十三日とは全國中等學生たちが喜んで?登校することであらう、喜びの蔭に氣遣はれるのは終業式後擔任の敎師から渡される成績表であらう、新京商業學校では午前九時から講堂で終業式を舉げられる東校長の式辭訓話あつて一旦敎室に歸り成績表が渡され校門を後に旬余の暇をして樂しきわが家へ、女學校も同樣九時から終業式江部校長の式辭あつて後成績表授與される、また普通學校は九時半から終業式がある

毆ぐられた上に所持金が紛失

紫色になつて新京署へ

二十三日午前十時頃一見二十四、五才位の職人風の男が顏面腕其他を打撲されたらしく紫色になり新京警察署に訴へ出た、此の男は新潟縣上原郡五泉町生れ當時新京鐵道北高砂町六丁目二番地勇盛組大工手秋薫（二四）で新京

『飛行』場建築に服し働き漸く二十一日に落成したので勘定を得二十四日の汽車で郷里に歸る積りで二十一日夜新京最後の見物に出懸け一ぱい飲んで城內四馬路の色街を通り中午後九時半頃平康里金喜堂前で三十五六才の男に行き當り散々毆打された上自分は〇〇〇經理部設計室に働いて居る原田と云ふ者だ俺の家まで來いと言はれ吉野町迄引張り行かれ一盃飲まんとモダン銀座に這入つたが自分が顏面血まみれになつて居るので銀座で斷はられたが

『其後』で氣がつき所持金を見たら何時の間にか五十三圓と云ふ虎の子が紛失して居るので歸國旅費もなくなり漸くは屆け出たものである

千圓拐帶の邦人

高飛中を逮捕

吉林居住土木請負業吉野博雄（三四）が苦力賃金一千圓を拐帶內地に高飛中を吉林總領事館署からの取押へ手配により二十一日午後四時新京署員に逮捕され身柄は二十二日吉林總領事館署員に引渡された

通遼のペスト容疑者十五名が逃走

直ちに驛の乘降を禁止搜査　縣當局に非難の聲

〔通遼支局發〕ペスト再發生に脅かされたる四萬市民を恐るゝ牛氣なからしめる事態を發生させた、通遼城內天主堂附近に

『發生』したるペストは防疫の宜しきを得てか數名の死亡者を出したのみで其の家族並に附近居住者を嚴重隔離發生地點を交通遮斷して以來新患者も見ず列車も旅客を運ぶ樣に成つた事は既報の通りであるが、去る十九日防疫官が隔離所に狀況調査のため赴いた處隔離中の十五名が何處かへ逃走せるを發見防疫員は之等の逃走方面を必死となつて搜査中であるが未だ判明せず、若し彼等に保菌者あるとすればペスト菌を城內一帶に傳播さす虞れあり之がため二十日午前十二時發の鄭家屯行列車には旅客の乘車を一切に禁止し防疫班よりは鐵路局、滿鐵等關係各方面に急電を發し之が對策の確答得る迄旅客一切

『中止』するさ、隔離所看守の責任者たる縣當局に民衆は非難の聲を放つて居る

貧民救濟會へ寄附

きのふ八件申込む

新京署保安係貧民救濟會に續々として救濟金が寄せられてゐる、二十二日に屆けられたものが八件である

▲市町內三笠二丁目カフェーライオン主人本島金三郎氏は同日新京署保安係を訪れ家屋を買つて初めて家賃が入つたからこれを記念として家賃のうち金五十圓を寄附

▲東二條通十一番地カフェー人形座女給一同が七圓五十錢

▲同主人井上清氏が十圓

▲日本橋通西山庄六郎氏が三圓

▲日本橋通そばや丸善雇女一同が三圓

▲東五條通二十一番愛子こと記し二圓

▲渡邊平三郎氏より二圓

▲無名氏から二圓を寄せた

小田原名物かまぼこ

新京人の食膳へ

名物東海道小田原の蒲鉾は過般來滿洲からの大量注文で組合では年末需要期に轉手こ鉾をして居るが正月のは新京奉天へも送荷の準備中で近く名物蒲鉾が新京人の食膳に供される事となるであらう

レコード發賣禁止

燎原の火の如く全國を風靡した流行歌東京音頭の輕快なメロデーを利用して大阪朝日蓄音機會社では黑田進を吹込者として同社發賣タルレコードに「昭和出維新行進曲」なる新譜を發賣したがこの行進曲は五、一五事件の被告の行動を謳歌したもので風敎上良ろしからずと關東廳では斷然發賣を禁止する事となつたが大連では既に賣込まれて問題となつてゐるが新京でも十九日關東廳からお達しがあり嚴重手配してゐる、今の所表面ではおレコードは全く姿を沒してゐるが、もしも未だ市井にあるとすれば手配以前に購入したもので見付け次第その筋で押收する事となつてゐる

居住消息

轉居

▲山田文雄氏　四平街から花園町二丁目三番地二ノ六へ
▲森昌氏　富士町七丁目二番地富士寮へ
▲園田一房氏（京都府）大連から羽衣町二丁目夕號へ
▲窪田定氏　中央通四十番地ノ二から興安胡同三百十八號へ
▲黑川秀氏　日出町一丁目八番地から吉野町二丁目十九番地ノ二へ
▲田口隆治氏　入船町四丁目九番地から西四馬路市營住宅四十二號へ
▲雁塚茂三郎氏　富士町三丁目六番地から富士町二丁目十八番地へ
▲高原實行氏　敷島寮から泉町一丁目社宅第十二號へ
▲福島登氏　敷島寮から常磐町三丁目十四號ノ二へ
▲篠原幸太郎氏　金濟寮から山順町二番地興安寮へ
▲清水德藏氏　和泉町二丁目から花園町二丁目四番地十一番地ノ三へ
▲江幡英太郎氏　吉野町一丁目から露月町一丁目十四號ノ一へ
▲大久保徹夫氏花園町三丁目二十四番地から開原へ
▲鈴木文一氏　新京驛構內運輸所から春日町四丁目二番地へ
▲古莊正尾氏　蓬萊町　丁目一番地から露月町一丁目二十三號へ
▲單司三郎氏　吉野町一丁目から朝日通り四十番地へ
▲河岡宗一氏　常磐町三丁目十一號から敷島寮八十七號へ
▲中村桃太郎氏　祝町三丁目十三番地から明倫街二ー白二號へ
▲佐野和作氏　常磐町三丁目十四番地から和泉町二丁目十九號ノ二へ
▲森脇仁市氏　錦町三丁目七番地から羽衣町二丁目オ號へ
▲川上武治氏　八島通から四平街へ

大連驛構內火事

（大連廿二日發國通）二十二日午前零時二十分大連驛構內滿鐵會社事務所より發火しつゝあるのを消防署望樓より發見、直ちに消火に出動、午前一時同所木造館一棟を燒失して鎭火した、右出火の原因はペーチカの過熱が引火したもので損害は目下取調中である

▲祝町二丁目廿二番地石原會吉氏二男次郎さん十日出生
▲梅ケ枝町三丁目二十六番地臥原兵與一氏二十一日午前五時死亡
▲平安町二丁目一號ノ四島塲龍三氏二十二日午前一時三十分死亡

ラヂオ講座（十九）

新京放送局長 加藤誠之

○電池の取扱方

電池式受信機には乾電池及び蓄電池又は乾電池のみ或は蓄電池のみが使用されるが、乾電池にしても蓄電池にしても一般に次の樣な點に留意することが必要である

一、電池の上に直接金屬物を置かぬこと
ペンチや螺子廻しの樣なものを直接に電池の端子に接觸して置いた爲電池を短縮した實例は稀ではない

二、常に電波の接續線を誤らぬ樣細心であること

三、甚だしく古くなつた乾電池と新しい乾電池とを接續して使用することは新しい電池のために不利である

四、兩端を接ぐ線を接觸してパチパチと火光を出したりすることは嚴禁すべきである

五、埃や温氣が甚だしいと特に乾電池は壽命が短かくなる

六、蓄電池は決して手荒く動搖させないこと

七、蓄電が放電してしまつてから充電することは宜しくない、常に餘力のあるうちに時々充電することが望ましいのである

八、蓄電池の電液はいつでも極板全体を浸して居ることが必要で、自然に蒸發して少し位液の減少したのは蒸溜水を補充して直ちに充電する

甚だしく液の減少したのは比重一、二の稀硫酸を補充して直に充電する

九、小さな泡が常に出てゐないやうな蓄電池は早速充電することが肝要である

十、C電池を適當に使用すれば音が明瞭になりB電池の消耗をずつと少くし、延いては眞空管の壽命を長く保つことが出來る
（エリミーター受信機のC電池に代はるグリツドバイアス抵抗器も同樣である）

十一、C電池はB電池の電壓と密接な關係がある四、五Vのものを使ふ時にも三Vその他にかへて試みて音量音質のよい狀態に置くこと

○避雷スヰッチに就いて

一、避雷スヰッチとしては小型切換スヰッチをアンテナ引込口の外部に設け雷鳴の時はハンドルを下に倒して置く
ハンドルに麻糸をつけて引く樣にして置いてもよい

二、アンテナ、スヰッチの螺子が緩んだり金物が青く錆びたりしたのは螺子を締め金物を砂紙で磨くことが必要である

三、避雷スヰッチからアースへはなるべく太い線を迂廻させないで眞直に引くことが必要で、此の線は出來るだけ短い方が良い

四、雷鳴時にアンテナをアースにつなぐには雷鳴の遠くに聞える内に切換へること が肝要で雷の近づいた時に此のスヰッチに觸れることは却て危險であるから特に注意を要する

○アンテナ、アース及び引込線の取付方

アンテナ及び引込線

一、アンテナは高い程能率がよい
水平の長さは高さの二倍内外が適當

二、アンテナ線はBS二十番乃至二四番位の七本撚の線が適當である

三、方向に因る效果は殆んどない

四、線の接ぎ目は、ハンダ付すること

五、絕線用の碍子は餘り甚だしく汚れると能率が惡くなる

六、アンテナの引込線は絕線のよい被覆線を用ひ屋内を引き廻すことは避ける

アース引込線

一、銅板を埋める時は六尺以上深く埋めた方が良い

二、溫氣の少ない土地は良いアースが出來ない

三、水道栓へアースを取つた場合接ぎ目が餘り錆びてはいけない

四、アースと受信機との間の接續線はなるべく短い方がよい

五、アンテナ引込線とアース線とは離すべきである（終り）

御贈答品の御買物は 森洋行へ

電話三八七三

新京中央通四八

輪入組合加盟店

後三時橫濱出帆の龍田丸で壯途についた

吉井徳子夫人 華族の禮遇を停止さる

〔東京國通〕曩に暴露された華族社會の淫倫極まる行跡に對し非難の聲募り、華族界覺醒のため宮内省では廿一日宗秩寮審議會を開き吉井勇伯夫人德子に對し華族の禮遇を停止した

三原山に ケーブル完成

〔東京國通〕苦しい戀の捨場所となつた大島三原山に、ケーブルカー建設が鐵道省から許可され直ちに建設に着手來春四、五月頃の自殺者の一番多いシーズンに完成するといふのも皮肉であるが、ケーブルカーの完成により南國情緒の駱駝は悲しくも失業の憂目を見る模樣である

映画だより

新京キネマ　二十三日からの替りプロは阪妻プロ總動員阪東妻三郎、主演、鈴木澄子特別助演の幕末亂刀史風雲長門城、英百合子、津村博主演の法廷悲劇後の審判ゴーモンフランコ社作ジョルジュ、ミルトン氏モナゴヤ孃主演パリーの本格的喜劇ミルトンの與太者等で第二回後援會觀賞會が催される

海の外から

□新威力の爆擊機
米國では此の程新型爆擊機の完成をみたが時速二百里、爆彈携帶量二千ポンドと云ふ新威力を有すると

□東洋趣味の劇場
紐育市ロツクフエラー街に最近建設された一劇場は、鐵筋木造と謂ふ米國には珍らしい東洋趣味たつぷりの設備であるがそれでゐて防火設備の完全なる事は近代建築界の誇りであると

□テレヴヰジョンの實用化
佛國政府はテレヴヰジョンの實用化を完成する爲、豫て多數の技師を起用して國内產業或は數外貿易に關してこが應用に由る販路の擴大を企圖し專任技師は目下全力を擧げて研究調査中である

□米國今夏流行の海濱傘
米國夏の呼び物海濱傘は毎年流行が變つてゐるが、今年は舊式幌馬車に使用してゐた幌型のビーチアンブレラが米國娘の人氣を占めるであらうと目下商人は大童で製造に着手してゐる

□米大陸橫斷道路
豫て米國の實業家連中が計劃してゐた米大陸橫斷道路は目下研究發案中であるが、完成の曉は時速百哩以内でドライブ出來る理想的道路の出現を見ることであらうと

アマチュア レスリング選手 ハワイへ

〔東京國通〕ハワイ、アマチユア、レスリング協會の招聘に應じ、我がアマチユア、レスリング選手櫻井、八田、兒玉、須藤、風間の五名は八田一郎監督と共に、二十一日午

ラヂオ

□安樂な椅子式馬具
米國加州乘馬クラブでは、濱乘り者の爲椅子式サドルの新馬具を備へ付けた所、その安樂な氣分が人氣を呼んで各クラブの注目する所となつた

二十三日（土曜日）新京
午後五時〇分 子供の時間（奉天より）
同 五時三〇分 ニユース（英語）
同 五時四〇分 ニユース（露語）
同 五時五〇分 ニユース（鮮語）
同 六時〇分 ニユース（東京より）
同 六時二〇分 語學講座（滿語）講師 高宮盛逸
同 六時四〇分 語學講座（日語）講師 植松金枝
同 七時〇分 演藝（滿語）
同 七時三〇分 講演（滿語）新京特別市公署 宋寅 訪日所感
同 八時〇分 ニユース氣象豫報、プロ豫告（滿語）
同 八時三〇分 時報ニユース（東京より）
同 八時四五分 ニユース氣象豫報
同 九時〇分 演藝 彌生、吉衛義太夫さわり、引續プログラム豫告

鮮魚相場

品名	値	品名	値
活鯛	一一〇	連子	三〇
チヌ鯛	五〇	甘鯛	四八
小鯛	七三	鮪	一二〇
ブリ切	四五	ヒラス	一三〇
サハラ	六〇	スヽキ	一二〇
サバ	一〇	アジ	一四
メダカレ	一三	ヒラメ	一八
ボラ	一二	コチ	一八
キス	四七	イワシ	一三〇
星カレ	二〇	ハゲ	一三〇
サケ	四〇	小サヨリ	二六
冷ブリ	二三	タボラ	二〇
クイワシ	一九	血切ブリ	六〇
甲イカ	六一	車エビ	五三
タコ	二六	貝柱	二六
赤メ	三	カキ	三〇
エソ	七	カマボコ	五二
カニ身	四八	小タコ	一三
マス	七二	糸入	五二
マテ	一三		

日本の聖女（上海上演映）

生田葵　南部龍平畫

（一〇）誘惑と誘惑（二）

お春は靜かに目を上げて問ひ返した。

『疑ひとおつしやいますと』

『岸田は其方の信心して居るあの子育て觀音を、きびしいお法度である異國の神樣、伴天連の同類が祀つて居る神樣ではなからうかと申すのぢや。そのことは私もその以前聞いたことがある。伴天連の仲間がお祈りを上げて祀るのは十字の磔柱にかゝつて居る耶蘇とか申す男の姿と、もう一つはその母親に當るマリアと云ふ女が生れたばかしの耶蘇を抱いて居る姿の二つであると。つまり岸田はあの子育て觀音をマリアの像だと云ひ張り、然うして今日逃げ果したあの伴天お高と結び合し、其方を取調べて見たいと申し出た』

『無學な私は、そんな伴天連の神樣があるなど、聴くが今が初めてで御座ります。私があゝしてお厨子に入れて祀つて居りますのは詳しいことは存じませぬが、此の日本國に昔から有る誰も彼もが信心致しまする子育て觀音樣で御座りまする』

『私も然うだと思つて居る。現在も西陣の其方の兄は二代目紀伊國屋宗兵衛と云はれて織屋として繁昌してゐる。その家に生れた其方がそんなお法度のお宗旨を信心してゐるとは私には考へがつかない。しかし岸田の疑ひは尤もなところもあるので、一應は訊いて置かねば、私の役目として相濟まぬ。しかと左樣であらうな』

『何しに偽りを申上げませう。御法度の異國の神樣を祀るなど、聞いた丈で、此の日本の國が汚れるやうに思はれて恐ろしいことのやうに存じます』

『それ聴いて安堵いたした。私は、其方の亡くなられた先代の宗兵衛とも懇意の仲、久し振りで其方に逢ひ、成長して美しくなつた姿を見たのではあるが、其方の御事息災であつたのをよろこび、そのやうな、いまはしい疑ひがかけられたのを悲しいことに思ひもした』

『有難う存じます。お親切の程忘れはいたしませぬ』

お春は其處へ手を突いて禮を云つた。

庫之進はどう云ふふうに自分の思ひを打明けやうか、どうしてその方への話の緒口を開きださうかしらと、焦慮すればする程、妙に話の工合が堅くなるのをどうすることも出來なかつた。

先刻飲んだ酒は、もう、醒めてゐた。

之はやはり酒の力をかりるのが一番だと思ひついた。

『お春殿、私はもう少し其方の母の玉枝殿のことに就て、話されねばならない。ところで私は今日の晝間汗ばんで歩き風の下地をこしらへたらしく、かうしてゐても寒くてならぬ。此處で酒を飲むから惡く思はれるな』

『恐れ多いそのお斟酌、どうぞおかまひなく、私のやうなものでもおよろしければ、お酌さして頂きまする』

『それならば私に取つては果報至極ぢや』

庫之進は手を鳴らして女中を呼び、下物は兎も角、大急ぎで酒を運んで來るやうに命じた。

『其方の母の玉枝殿は、いつ見ても若い。誰が見ても其方の姉とは見やうが、母とは思ふまい』

『久しく見ませぬが、自分の子をも平氣で捨てるやうな人、年をとるのも大方忘れたのでござりませう』

そんな話をしてゐると女中が酒を運んで來た。庫之進が盃をふせて銚子を手にすると、お春は膝へとよつて行き、娘の媚めかしい形態を作りながら、銚子を取つて酌をした。